

[演題6]

第2回ハッピースマイルクラブお楽しみ 報告

池田 陽祐¹⁾, 梶本 一輝¹⁾, 江口 紗矢¹⁾, 山中 瞭¹⁾, 瀬尾 香奈恵¹⁾,
 青嶋 龍之介¹⁾, 渡邊 千裕¹⁾, 平田 さゆり¹⁾, 林 凌矢¹⁾, 山本 柚葉²⁾,
 南 哲³⁾, 浅井 剛³⁾, 松尾 雅文³⁾

1) 神戸学院大学総合リハビリテーション学部 理学療法学専攻 2年次生

2) 神戸学院大学総合リハビリテーション学部 作業療法学専攻 2年次生

3) 神戸学院大学総合リハビリテーション学部 理学療法学専攻

1. ハッピースマイルクラブ お楽しみ会について

ハッピースマイルクラブは、難病患者（Duchenne型筋ジストロフィー患者）と家族の生活の質の向上と、精神的な支援を図ることを活動目的とした団体であり、お楽しみ会はクラブの際の定例会に行うイベントである。本報告は、昨年度開催した第1回に引き続き、第2回を平成26年9月28日に行ったものについてまとめたものである。参加者は20人であり、学生ボランティアは約40人で行われた。

2. 本会の目標

本会の目標は、病気により身近なことから経験しなかったことにチャレンジするきっかけを作り、やり方・工夫次第で色んなことができるという成功体験を提供することである。また、成功体験を得てもらうためにも、子供たちの好きな遊び（楽しいこと）を提供することによって動機づけを行い、これからの生活に生かせるきっかけを作ること目標とする。



写真1 水鉄砲合戦の様子

3. 内容

第2回ハッピースマイルクラブお楽しみ会（ようかい水ウォッチゼリゼリボー）では、レクリエーション（クイズなど）・パフェ作り・水鉄砲合戦を行った（写真1, 2）。レクリエーションでは、子供同士・学生と子供との距離を縮める目的で行い、パフェ作り・水鉄砲合戦は普段経験しないような遊びを行った。

4. 今後の課題と展望

本活動を継続するにあたり、明確な目標設定とリスク管理が、次の学年に引き継ぎ、さらに意義のある活動につなげるための課題となる。

本活動は現在ハッピースマイルクラブお楽しみ会として、筋ジストロフィー患者に限られた活動となっているが、今後は筋ジストロフィーだけでなく他の疾患に対してもこのような場を作り地域活動を行っていきたい。また保護者に対して子供を預けることのできる場、親同士の意見交換の場にしていきたいと考えている。



写真2 レクリエーションの様子